



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.1)

今月号からスタートのこのコーナー。福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

記念すべき第1回は「同仁医薬化工(株)」さんです。

🐰 何を製造しているの？

当社では、病院向けとドラッグストア向けの薬を、研究開発から製造まで行い、大手製薬会社に販売を委託しています。製造した薬は国内のみならず、ロシア、メキシコなど海外でも使用されています。

薬には高い品質が求められますが、独自のハイスピードな製造設備を導入し、品質を作り込んでいます。

代表的な薬に痛み止めのボルタレンシリーズがあります。



販売：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

🐰 クローズアップ

🐰 ご出身は？

北海道札幌市です。

🐰 なぜ福島へ？

同仁は製薬会社としては小規模ですが、大手製薬会社と対等に仕事を進めている点に魅力を感じて福島に来ました。

🐰 抱負をどうぞ

新剤の研究開発を通し、多くの患者様を救う薬を世の中に供給していきたいので、公私ともに頑張っていきます。

🐰 注目の若手社員に インタビューしました！



(入社2年目)研究室所属
渡邊 裕貴さん

同仁医薬化工株式会社 福島工場
福島から世界中の患者様へ

【会社概要】

所在地：福島市瀬上町(福島工場)
東京都中野区(本社)

代表者：吉里 貞範

創業：1946年

資本金：1億5,980万円

社員数：87人

主要製品：抗精神病剤(分包品)、
鎮痛消炎剤 ボルタレン
シリーズ(ゲル、ローション、テープ)



We Love ♡ ふくしま！ 第16回『水と共に生きる』

吾妻山系や阿武隈川から流れる豊かな水。福島市には豊かな水資源があります。電力源になったり、潤いのある雰囲気醸し出したり、水にはさまざまな表情があります。昨年は、水の怖さ、水のありがたさを改めて認識させられた1年でした。

西日本では、記録的な豪雨で多くの方が亡くなり、多数の悲しみが生まれました。逆に本市では少雨となり、自慢の果物の実が小粒になりました。

気象変動の影響で、こうしたことは今後も予想されます。防災訓練を5月に前倒しして梅雨や台風に対応したり、かんがい設備を導入したりするなど、昨年の教訓を生かして、気象変動に対応した対策の強化に取り組んでいます。

一方、水は生命の源「いのちの水」でもあります。私たちの体の50~70%は水。大災害時の避難生活では水の確保が

真っ先に必要とされます。これからの季節、熱中症が多発します。こまめな水分補給を心掛けましょう。

また、水には味や質があります。おいしい水はいい酒造りや料理に欠かせません。福島市水道局のペットボトル「ふくしまの水」は、本年、3年連続でモンドセレクションの最高金賞に輝きました。これは市内84カ所・市外23カ所で販売しているほか、会議やイベントなどで利用いただく場合は特別協賛として割引する仕組みも設けています。JR福島駅西口には、福島地区管工事協同組合の協力をいただき、ももりんの水飲み器を設置します。ふくしまの安全でおいしい水を風評払拭や福島市のPRに活用していきたいですね。

古来、人類の文明は大河の流域で発展してきました。水の恵み、水を治める必要性が文明を発展させてきたのです。水とうまく共存して、豊かで潤いのある地域社会を実現していきたいものです。

福島市長 木幡 浩